

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	グローアップ 春日野道事業所		
○保護者評価実施期間	2024年12月11日		2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2024年12月11日		2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多機能型事業所の為、継続した支援が可能である。	0歳～18歳まで利用ができる為、継続した支援が可能である。長期的な目線で将来に向けた支援に努めている。	学校や併用している事業所などとも積極的に情報共有を行い、生活全体を継続して支援できるよう努める。
2	・自宅や学校以外の居場所としての支援。	自宅や学校以外の居場所作りとして、個々に合わせた活動やプログラムを準備し、自宅や学校以外でも安心して過ごせるよう工夫している。	安心できる居場所作りと関係作りを深める為、今以上に環境調整や個々に合わせた活動内容を検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流	放課後児童クラブや児童館との交流をプログラムとして取り入れることができていない。	地域のこどもと公園などで交流する時間はあるものの、プログラムとして放課後児童クラブや児童館との交流を実施できていない為、今後どのような形でプログラムに取り入れるかを検討する。
2	・災害対応等のマニュアルを作成し、訓練も定期的に行っているが、情報発信が課題である。	災害対応等のマニュアルを作成し、訓練も定期的に行っているが、保護者の方への情報発信の方法が確立していない。	契約時などに災害時の対応をご説明し、定期的に行っている訓練などの様子をお手紙やSNS等で積極的に発信できるよう心がける。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	グローアップ 春日野道事業所
------	----------------

公表日 令和7年3月 日

利用児童数 17名 回収数 8人(47%)

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1		1	利用の曜日以外の状況は分らないが、利用日に関しては適切であると思う。	どの曜日においても活動のスペースを十分に確保できるよう努める。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6			2	利用の曜日以外の状況は分らないが、利用日に関しては適切であると思う。	どの曜日においても職員の配置数は基準人員よりも多く配置するように努め、こどもの状況に応じて職員を増員するなどして支援にあたるよう努める。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7			1		業務終了後には必ず換気・清掃を行い、心地よく過ごせる環境作りに努める。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1				こどもの特性に応じた支援を保護者の方とも連携を取りながら行っていきたい。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6			2	利用の曜日以外の状況は分らないが、利用日に関しては適切であると思う。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	2				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	1	3		外遊びのプログラムの際に公園などで地域のこどもと関わる機会があるが、今後放課後児童クラブや児童館との交流も検討していきたい。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7			1		利用契約時に運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明するよう心がける。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	2		1		支援計画を示しながら支援内容の説明を行っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2		2		事業所での家族支援プログラムは現在行うことができていないので、今後検討していきたい。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	7	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	2	1			毎日のフィードバックや個別支援計画での目標にて支援を行っている。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	1				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1		2		親子参加のイベントで保護者の方、きょうだい同士の交流する機会を設けている為周知していきたい。また父母の会や保護者会は開催できていない為、ご家族やきょうだい支援のプログラムを考えていきたい。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1		1	電話やメール、事業所内でご相談をいつでもお受けできることを周知し、相談や申入れがあった際は迅速かつ適切に対応していきたい。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7			1	引き続き個人情報の取り扱いには十分に留意する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			3	各マニュアルの周知と訓練の実施・報告の周知を徹底していきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			3	定期的に避難、救出訓練を行っているので、その周知と報告を徹底していきたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			2	子どもの安全を確保するための計画について周知し、十分に安全確保した上で支援を行っていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			2	事故や怪我が発生した場合は、速やかに保護者の方にご連絡をしご説明をするよう努める。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	グローアップ 春日野道事業所			公表日	令和7年3月日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	広く動くことが出来るスペースと作業をするスペースを分けるなどして工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	職員の配置数は基準人員よりも多く配置するように努めている。またこどもの状態に応じて職員を増員して支援にあたるなどの工夫をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	活動スペースには段差がなく動きやすいスペースを確保している。また職員室やトイレには絵と文字で場所を示す掲示をするなど心がけている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	業務終了後には必ず換気・清掃を行い、清潔を心がけている。またこどもの発達に合わせて空間の設定をするようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個別の部屋を準備することが難しい為、パーティションで仕切る等して個別の空間を作る事ができるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	月に一度のミーティングや日々の引継ぎの中で業務改善の為に目標設定や振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年に1回保護者の方向けにアンケートを行い評価表を公表するにあたって、ミーティング等でアンケート結果をもとに今後どのように業務改善を行うかを検討している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	月に一度のミーティングや日々業務の中で職員の意見等を把握する機会を設けられるよう工夫している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		現時点では第三者による外部評価は行っていない為、今後の検討課題とする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部研修などの情報は職員間で共有し、積極的な参加を促している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムを作成し、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	定期的なモニタリング、日々の送迎時に保護者の方からこどもの様子をうかがうことで、アセスメントを適切に行うことができるよう努めている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	日々の業務終了時や月に一度のミーティングで検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	支援計画は全職員に共有し、計画に沿った支援内容を考えている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントからこどもの適応行動の状況を確認している。	今後フォーマルなアセスメントをより取り入れたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	支援計画作成時、支援に必要な項目を考え、具体的にどのような支援を行うかを検討している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	チームで活動プログラムの立案を行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	活動プログラムが固定化しないよう、毎月行事予定を作成している。また定期的に活動プログラムの見直しを行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	日々の活動の中に個別活動と集団活動を取り入れ、その活動の中でどのように支援を行うかを考え支援計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援開始前には職員間で活動内容やこどもの様子などを共有し、チームで支援できるよう心がけている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	支援終了後には職員間で活動内容やこどもの様子を振り返り、情報共有に努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援終了後には必ず記録をとり、いつでも振り返ることができるようにしている。また特に変化があった際などには、別に記録し共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年に一度以上モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を組み合わせ活動を検討し、支援している。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	プリント教材や作業の選択、おやつや遊びの選択など自己決定できる場面を確保できるよう支援を行っている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	担当者会議やその他の会議には児童発達管理責任者をはじめとし、こどもの状況をよく理解した指導員も同席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	医療は協力医療機関との連携。その他相談支援員や学校の先生との情報共有を積極的に行い、連携して支援できるよう心がけている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	行事や下校時間の確認は保護者の方へお願いしているが、学校に情報共有をお願いすることもある。連絡調整は相互に行える環境を整えられるよう努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	必要に応じて各機関や園と情報共有を行い、相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6		事業所からの卒業生がまだいない。今後障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、支援内容等の情報を提供したい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		今後、児童発達支援センターでの研修会等に積極的に参加し、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	地域の公園で他のこどもと一緒に遊んだりお話をしたりして交流をしている。	放課後児童クラブや児童館との交流は現在行うことが出来ていない為、今後計画していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	自立支援協議会には積極的に参加をしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時や電話・メールを通して保護者の方とこどもの発達の状況や課題について共通理解を持つことに努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		事業所での家族支援プログラムは現在行うことができていない。今後の検討課題とする。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	利用契約時に文書で説明を行っている。また質問があれば適宜お答えするように心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	半年に一度以上行っているモニタリングでこどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	支援内容を伝え、同意を得るよう心がけている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	ご相談がある際は、送迎時や電話・メールなどでお受けし、必要があれば時間を設けるようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	親子参加のイベントなどを通して保護者の方やきょうだい同士で交流する機会を設けている。	父母の会などは開催することができていない為、今後の検討課題とする。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談や申し入れがあれば対応できる体制を整備し、迅速に対応できるよう心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	HPやSNS等で活動の様子や月間行事予定を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報は厳重に保管し、取り扱いには十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	保護者の方には文書やメール等でお伝えを心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		地域の施設とは不定期に交流をしているが、事業所の行事に地域住民を招待することは出来ていない為、今後の検討課題とする。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルを作成し、定期的に発生を想定した訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害に備えている。また定期的に避難訓練なども行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	利用開始前に服薬やてんかん発作については確認し、発作時の対応等についても確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	利用開始前に食物アレルギーについて確認している。	保護者の方からの情報をもとに対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に安全面についてご説明をしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	万が一そのような場面が起きた際は、ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けて対応している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に虐待防止研修の機会を確保し、適切な対応ができるよう努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	契約時に身体拘束についての説明を行い、身体拘束の必要があれば組織的な決定・事前に十分な説明をする体制を整えている。		